

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
南町宮崎町線沿道地区

平成21年8月

千葉県千葉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	二次医療施設へのアクセス向上	分	12	6	10	確定 見込み ●	△	あり なし ●	10	H21年5月	△	南町宮崎町線の事業が進捗しなかったため。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標ルートである南町宮崎町線は、用地買収が難航しているため、全面供用に至らなかった。しかし、従前ルートである仁戸名町16号線の歩行空間整備により、若干ではあるが時間短縮された。
指標2	地区コミュニティ活動の定着	人	0	200	24	確定 見込み ●	△	あり なし ●	27	H21年5月	△	コミュニティ活動に積極的な人物に懇談会に参加してもらい、活動に向けての準備を進めているものの、実施までには至っていないため。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	役員を通じコミュニティ活動(花植え)に積極的な人物が懇談会に参加し、さらに活動を広げていくための基盤が作れた。
指標3	バス利用者数の拡大	人	140	280	146	確定 見込み ●	×	あり なし ●	113	H21年5月	×	最近の世間一般の健康志向から、徒歩通勤・通学者などが増えバス利用者が減ったのではないかと考えられる。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	大森台駅前広場整備事業が用地買収難航により進捗せず、バス利用者数は減少傾向にある。
指標4	放置自転車の減少	台	193	0	103	確定 見込み ●	△	あり なし ●	135	H21年5月	△	バス利用者が減り、自転車利用者が増えたのではと考えられる。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	駐輪場の利用環境改善を見込んでいた駅前広場が用地買収難航により完成せず、また違法駐輪が事後評価時より増加したものの、注意喚起看板等の設置により従前よりは少ない状態であり、効果は持続している。
指標5	一人当たりの公園面積(大森町)	m ² /人	0.59	0.87	0.84	確定 見込み ●	△	あり なし ●	0.84	H21年5月	△	用地買収の難航により、公園整備箇所が変更となり、その面積が当初整備予定箇所より小さかったため。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	数値目標には満たなかったが、公園面積の拡充という目的を達したことは評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	公園緑地面積の拡充	%	2.4	/	3.8	確定 見込み ●	/	/	3.7	H21年5月	/	評価値は計画面積で算定し、確定値は実測値で計算したため、若干の差異が出た。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	従前に比べ公園緑地面積が拡充したことにより、快適な生活環境の向上が図れた。
その他の数値指標2	事業に対する地域住民の認知度	自治会	0	/	89	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地区内及びその周辺の自治会に懇談会の情報を提供し、共通認識を持ってもらうことにより、地域コミュニティの連携の向上が図れた。
その他の数値指標3	地域間における空白エリアの住居増加	戸	788	/	926	確定 見込み ●	/	/	858	H21年5月	/	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	住居数は評価値には達していないが、空白エリアが概ね居住空間となり、地域コミュニティの連携向上につながっている。
その他の数値指標4	大森台駅乗降客数	人	2,668	/	2,794	確定 見込み ●	/	/	2,754	H21年6月	/	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	駅乗降客数が従前値と比べ増加傾向であり、周辺道路の整備による交通結節機能が向上している。
その他の数値指標5	大森台駅に通じる既存主要道路の歩行空間の平滑化	%	33	/	90	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	既存主要幹線の大森台駅までの移動経路における歩行空間を平滑化することにより、円滑な移動が可能になり、交通結節機能の向上が図れた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域コミュニティ連携の持続	まちづくり懇談会を継続的に実施した。	地域コミュニティ活動を活性化すべく、花植えイベントの開催について、話し合いを行い、概ね方向性が決まった。	まちづくり懇談会を定期的に開催・持続する。
	道路の維持管理	道路清掃・補修等を実施した。	安全で快適に利用できるよう、道路の機能が保たれた。	定期的に道路パトロール等を行い、機能保全につとめる。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地域コミュニティ活動の定着	まちづくり懇談会に、役員以外で地域コミュニティ活動に関心がある地域住民に参加してもらった。	役員以外のコミュニティ活動(花植え)に関心を持つ地域住民が懇談会に参加してもらうことができ、今後の地域コミュニティ活動の活性化につながった。	さらにコミュニティ活動に参加できる地域住民の輪を広げて行く。
	交通結節機能・都市機能の向上	違法駐輪に対する看板等による注意喚起を継続した。	バス利用者の減少により、自転車利用者が増加し、これにより違法駐輪も多少増加していると推測されるが、従前値よりは減少していることから効果はできていると考えられる。	駅前広場の供用は交通結節機能を強化し自家用車から公共交通への転換を図るため必要である。また、放置自転車に対する抜本対策として駅前広場内の駐輪施設整備を早期に進める。
	防災環境の向上	生活道路の整備を行った。	道路の有効幅員が広がり、災害時における緊急活動の円滑化に寄与した。	未整備箇所について、地元の意向を聞きながら整備を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項